



Revive Seat

あなたに新たな空席を

- カフェ
- 空席
- デッドスペース
- シェア

- 七海 龍平(未来大) ●日戸 直紘(未来大) ●渡辺 泰伎(未来大) ●田島 翔(未来大) ●下河 美咲(専修大) ●宮澤 和也(専修大) ●三上 修平(専修大) ●佐々木 翔哉(神奈工)
- 善波 有貴(神奈工) ●梅本 笙(神奈工) ●池田 千夏(神奈工) ●前田 章吾(法政大) ●上戸 祐哉(法政大) ●李 睿昇(法政大) ●坂野 千帆(法政大) ●長田 樹郎(法政大)

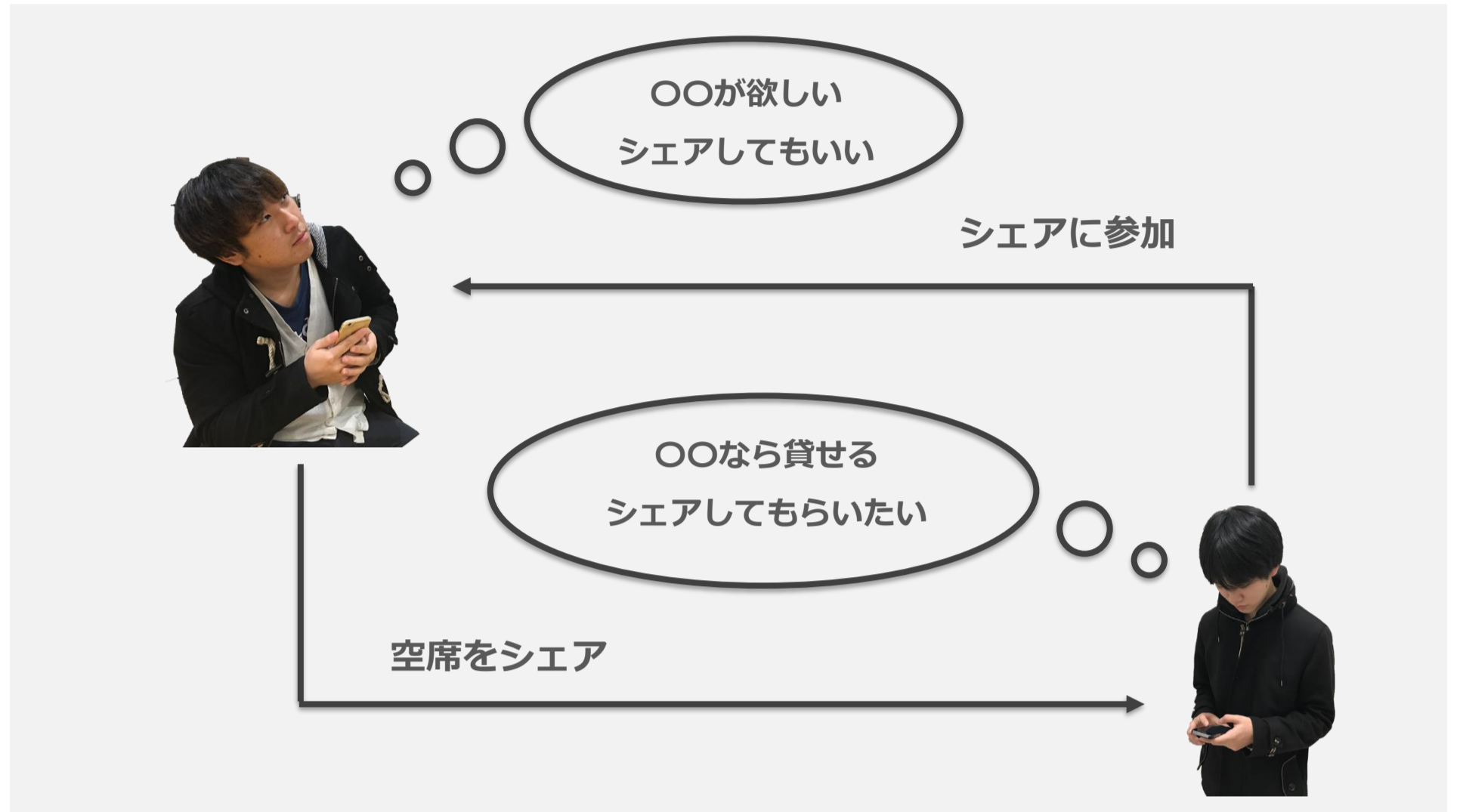
01 Revive Seat とは

本サービスはカフェのデッドスペースを有効活用するサービスである。デッドスペースとは、カフェの有効活用されていない席のことである。例えば4人席を1人で占有していると、そこに3人分のデッドスペースが生じる。本サービスでは、このようなデッドスペースをユーザが自由にシェアでき、有効活用するサービスを提案する。



02 利用形態

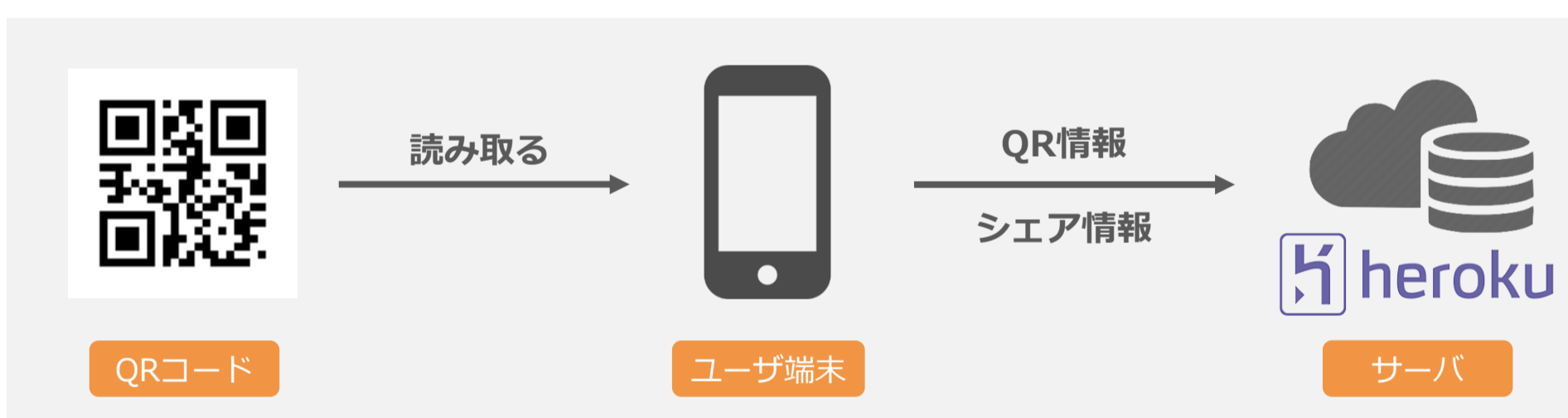
カフェでデッドスペースのあるテーブルに座っているユーザが、余った席をシェアしてホストユーザとなる。その際、タイトルや欲しい価値、募集期限などのシェア情報を設定する。一方、カフェが混雑していて座れない人などが、シェア情報リストを見て適しているものを選択する。これによって参加を確定したユーザはゲストユーザとなる。



03 実現するための技術と仕組み

● シェア作成・参加プロセス

ホストユーザがシェアを開始するには、カフェのテーブルに貼られているQRコードを読み取る必要がある。そのデータをシェア情報と一緒にサーバへ送信することでシェアが開始される。ゲストユーザはシェアに参加した後、カフェに到着次第QRコードを読み取ることでシェアの開始がサーバに通知される。



● 評価機能

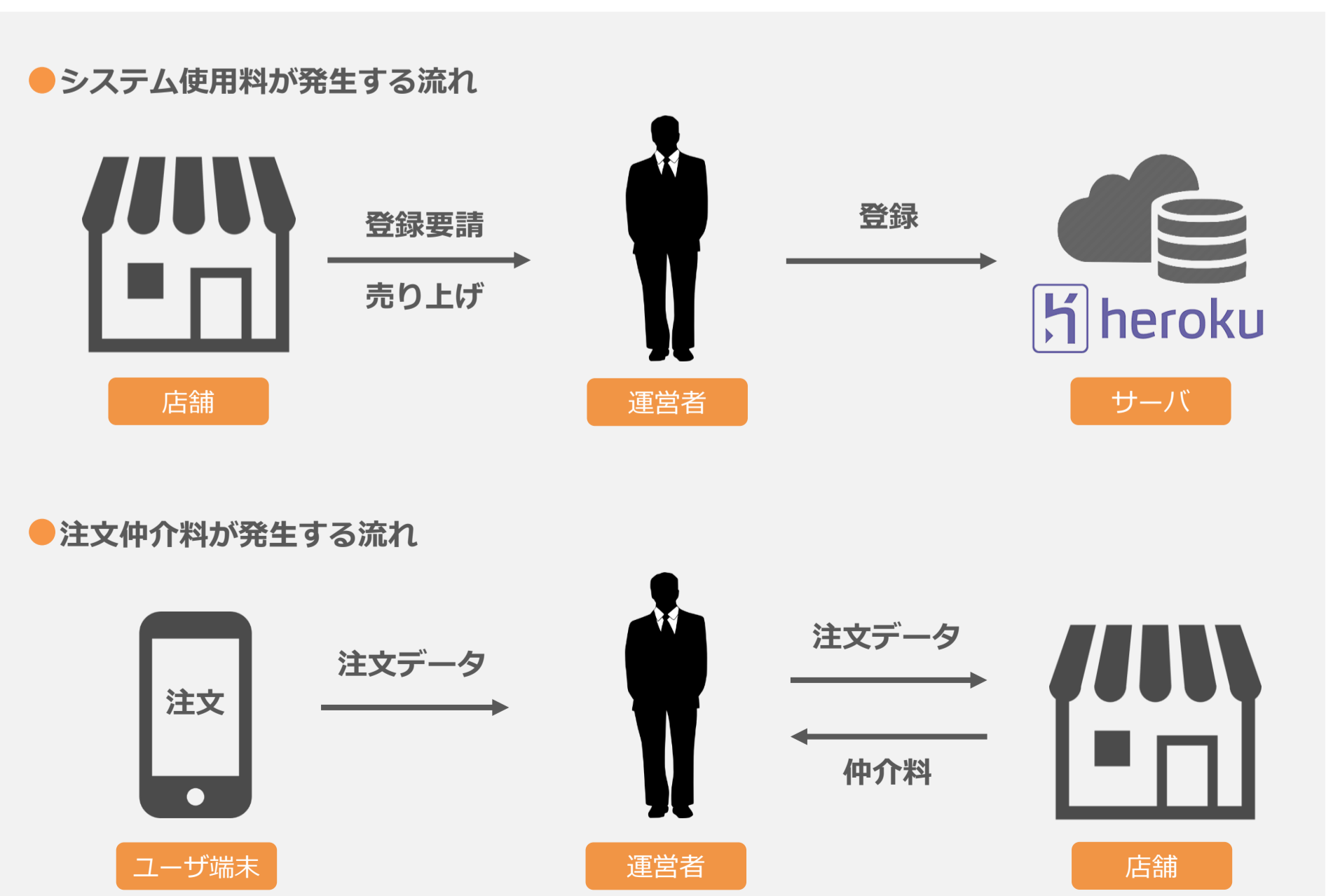
シェア終了後、ホストユーザとゲストユーザが互いを5段階で評価をシェアすることで、サービスの流れが完結する。このときコメントもつけることができ、次にシェアをするユーザが、相手はどういった人なのかを把握することができるようになっている。これにより安心安全なシェアを行えるようになっている。



04 ビジネスモデル

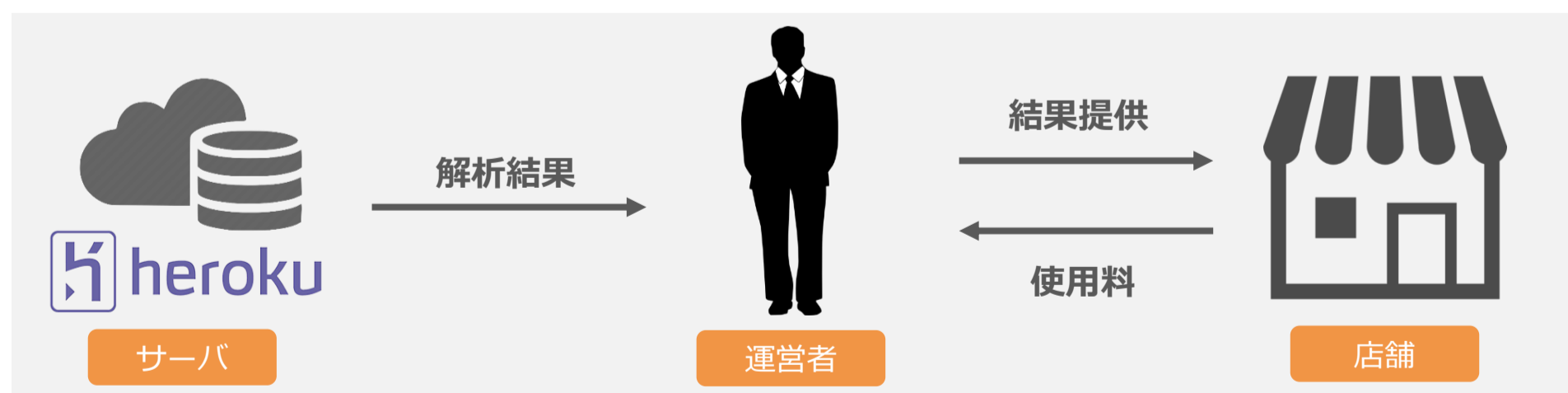
● システム使用料と注文仲介料

本サービスを使用したいカフェは、その旨を「Revive Seat」の運営に伝えることで、シェアできる店舗としてシステムに登録が行われる。これによって、ユーザがデッドスペースをシェアできるようになるため、客席稼働率が上昇して売り上げも上昇する。その売り上げの10%を、システム使用料として受け取る。またそのシェアにゲストユーザが参加した後、カフェまでの移動中にカフェの商品を事前に注文することができる。この機能を用いて発生した売り上げの10%を、注文仲介料として受け取る。



● データマイニング解析結果使用料

本サービスの特性上、どのようなユーザがどのようなものを欲している、どのようなユーザがそれを提供するのか、などの様々なデータが取得できる。これを用いた顧客のニーズを解析し、その解析結果を契約したカフェへ提供する代わりに、解析結果使用料を受け取れるよう企画中である。



● ゲストユーザからの募集

現在はホストユーザから余った席をシェアしてもらい、ゲストユーザはそれに参加するしかできないが、ゲストユーザからもシェアを募集することができるように企画中である。ゲストユーザが先に提供する価値を提示し、ホストユーザはその中からシェアする相手を選択するものである。

